

意見交換における本部委員の主な意見

□産業戦略指針「やまぐち産業イノベーション戦略」の改定素案について

(改定素案全般に関する意見)

- 未来技術関連分野には、その分野自体の成長と、未来技術を活用して、その他の分野を成長促進していくという側面があることから、位置付けを良く整理していただきたい。
- 分かりやすくプロジェクトが整理されており、充実した形になった。

(各プロジェクトについて)

[瀬戸内産業競争力・生産性強化プロジェクト]

- コンビナート企業間連携について、一層の連携強化に向けた県の取組を期待している。
- 基礎素材型産業の競争力の源泉となっている本プロジェクトについては、ものづくりの県としてこれまで以上に強力に取り組んでいただきたい。
- CO₂利活用技術等の検討に協力していきたい。

[地域産業デジタルトランスフォーメーション加速化プロジェクト]

- 情報通信インフラの整備、クロステックイノベーションの創出、デジタル人材の育成等を具現化し、DX化を加速していただきたい。
- DX加速化プロジェクトは全体のプロジェクトに横串を刺すようなプロジェクトであり、大変重要である。
- DXの推進にはデータサイエンティスト等、デジタル人材の育成が重要である。
- 大学ではデジタルサイエンス人材の育成を大きな柱としており、連携したい。
- DXの加速化については、県内中小企業のIoT導入の推進、DXリテラシーの向上支援、5G基地局の整備促進が必要。
- 金融機関としてのネットワークを活かし、企業への情報提供や資金面での支援のほか、DXの具体策に係る提案等を行っていきたい。
- 県内農水産物の活用に向けて、DXを活用した生産状況がリアルタイムで入手できる仕組みができないか。
- 海外の先進的な知見を積極的に取り入れていくべき。
- ドローンのコンビナートでの活用について、具体化してほしい。
- 中小企業もDXを含め、もっと未来に投資する必要がある。当社としても、ものづくりやDXの分野で先駆的な役割を果たしていきたい。

[オープンイノベーション加速化プロジェクト]

- 「高度産業人材確保・活用支援プロジェクト」が本プロジェクトに改変され、目指す方向が明確となった。当社としても協力支援していく。
- 瀬戸内技術交流会について、県内企業間の連携強化に向けた動きが拡大しつつあると認識しており、本取組には積極的に参画したい。

[自動車関連産業イノベーション創出プロジェクト]

- カーボンニュートラルの達成に向け、今後は製造プロセスにおいてもCO₂排出を抑制していくことが重要と考えている。

〔成長産業育成・集積プロジェクト〕

- 中堅・中小企業にとって、水素エネルギー関連産業分野の取組はハードルが高いため、その前段階における工夫が必要と考えている。

〔ヘルスケア関連産業創出・育成支援プロジェクト〕

- 6者合意に基づく地域コホート研究は非常に重要であり、これを核に国際バイオコミュニティ圏を作っていきたい。
- ヘルスケア関係では、山口大学と協力し、山口県の成果物として展開していきたい。
- 住環境が健康意識に影響するというデータもあり、住宅機器の分野でもヘルスケア関連産業の創出・育成を推進していきたい。

〔地域中核企業創出・成長支援プロジェクト〕

- 中堅・中小企業における効率的なDXの推進のためには、大企業の取組を学べるような場の創出が必要である。

〔産業インフラ輸出促進プロジェクト〕

- 動画や図面を活用してリモートで技術を伝達する等、コロナで県内の技術者がベトナムに渡航できない中でもプロジェクトを進めていくことが必要である。

〔大規模産業用地活用・企業立地促進プロジェクト〕

- 東部地域の技術交流会のような機会をきっかけに、事業所内遊休地等も活用した地元企業と新たな連携、新事業創成などにも期待したい。